

Bulletion of Kagoshima
Prefectural Archaeological Center

From JOMON NO MORI

No. 12 CONTENTS

Study of chronology for a Jomon period pottery
in Kagoshima prefecture
- Focusing on carbide adhered to pottery -
Masayuki Kawaguchi, Rie Kuroki, Michifumi Tategami

Carbon14 dating of Tenjindan, Miyawaki site samples.
- Chronological position of Oshigatamon type pottery in
central Osumi region -
Kenichi Kobayashi, Michifumi Tategami

A re-examination of "bark-cloth beaters"
in the Yayoi period, Japan
- Three-dimensional documentation and observation -
Satoru Nakazono, Maki Tarora, Hiromi Hirakawa, Kaho Wakamatsu,
and Jun Shimokomaki

A Basic study on circumferential grooves relic of Yayoi period
in Kagoshima.
Tatsumi Yubazaki

About a stone wall Kagoshima castle after Genroku.
Shiro Abiru

Annual of Kagoshima Prefectural Archaeological Center of the 30th
year in Heisei

Kagoshima Prefectural Archaeological Center
March 2020

研究紀要・年報

縄文の森から

From JOMON NO MORI

第12号

鹿児島県における縄文土器の実年代
- 土器付着炭化物放射性炭素年代測定値から -
川口 雅之, 黒木 梨絵, 立神 倫史

天神段遺跡・宮脇遺跡出土試料の炭素 14 年代測定
- 大隅地方中部における押型紋土器の年代的位置付け -
中央大学 小林 謙一, 立神 倫史

弥生時代におけるいわゆる樹皮布叩石の再検討
- 三次元記録と観察から -
鹿児島国際大学 中園 聡, 太郎良真妃, 平川ひろみ, 若松花帆,
下小牧 潤

鹿児島県における弥生時代の周溝状遺構に関する基礎的研究
- 周溝状遺構の集成と考察 -
湯場崎 辰巳

鹿児島城跡元禄以降の石垣について
阿比留 士朗

平成 30 年度 年報

鹿児島県立埋蔵文化財センター
2020. 03

研究紀要・年報

縄文の森から

第12号

鹿児島県立埋蔵文化財センター

『縄文の森から』第12号 目次

鹿児島県における縄文土器の実年代

—土器付着炭化物放射性炭素年代測定値から—

川口 雅之, 黒木 梨絵, 立神 倫史・・・・・1

天神段遺跡・宮脇遺跡出土試料の炭素14年代測定

—大隅地方中部における押型紋土器の年代的位置付け—

中央大学 小林 謙一, 立神 倫史・・・・・24

弥生時代におけるいわゆる樹皮布叩石の再検討

—三次元記録と観察から—

鹿児島国際大学 中園 聡, 太郎良真妃, 平川ひろみ, 若松花帆, ・・・・・30
下小牧 潤

鹿児島県における弥生時代の周溝状遺構に関する基礎的研究

—周溝状遺構の集成と考察—

湯場崎 辰巳・・・・・51

鹿児島城跡元禄以降の石垣について

阿比留 士朗・・・・・63

平成30年度年報・・・・・72

平成 30 年度
年 報

県立埋蔵文化財センター
第一調査係の成果(県事業関係の調査)

発掘調査

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象 表面積 (㎡)	調査 期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	原村遺跡	曾於市	土木部 道路建設課	飯野松山都城線 (末吉道路)整備	本調査	30,200	5月 ～ 2月	縄文早期	集石40基、落とし穴1基、土坑7基、竪穴住居跡、土器集中1基	土器(岩本式・加栗山式・吉田式・石坂式・下刺峯式・辻タイプ・平袴式・塞ノ神A・B式)、打製石鏃、スクレイパー、局部磨製石斧、磨石、環状石斧、球状耳飾?、フレーク、チップ、石皿、石槍	縄文時代早期の土器が出土 ・環状石斧が出土	隈元 加世田 (民活)
								縄文後期	土器埋設遺構、土坑2基、竪穴住居跡1軒	土器(中岳Ⅱ式・上加世田式・疑似磨消縄文)、線刻礎		
								縄文晩期	土坑1基	土器(入佐式・黒川式・刻目突帯文・組織痕)、磨製石製品、打製石斧、フレーク、チップ		
								弥生		土器(弥生・入来Ⅰ式・山ノ口Ⅰ式・山ノ口Ⅱ式)		
								古代	ピット	須恵器、土師器、籬の羽口、鉄滓		
								中世		青磁		
2	宇都上遺跡	志布志市	有明志布志道路 改築	本調査	8,500	6月 ～ 11月	縄文早期	集石32基、土坑8基、落とし穴1基	土器(岩本式・前平式・加栗山式・塞ノ神式)、石鏃、フレーク、磨石、石斧	・中世の竪穴建物跡や、性格不明の土坑を検出	永瀬 藤島 (民活)	
							中世?	竪穴建物跡、五輪塔等廃棄?土坑				
							中～近世 時期不明	石塔、溝、土坑、ピット	青磁、国産陶磁器、煙管、軽石製品			
							縄文早期		石鏃			
2	見帰遺跡				2,540	12月 ～ 1月	縄文前・中期	落とし穴1基	石鏃	・H25年度調査区とつながる溝状遺構を検出		
							縄文後・晩期		土器(西平式・丸尾式)、石器(打製石斧・磨石)			
							時期不明	溝状遺構1家(平成25年度調査分の続き)				
							縄文早期		石鏃			
3	鹿兒島(鶴丸)城跡	鹿兒島市	県民生活局生活・文化課	鶴丸城跡保全整備	確認本調査	990	5月 ～ 2月	近世	布基礎、根石、石組排水溝、石管水道、土坑?溝?地業、タタキ面、胴木、不明遺構	陶磁器、瓦(平・丸)	・兵具所跡から隅欠部付近の遺構の残存状況が確認できた	阿比留 福園
								近代	プール	陶磁器、瓦(平・丸)		

報告書作成・整理作業

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象 表面積 (㎡)	調査 年度	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	下原遺跡	志布志市	土木部 道路建設課	都城志布志道路 (有明志布志道路)整備	整理 報告書 刊行		H24 ～ H27	旧石器		細石刃核、細石刃、スクレイパー、剥片		山崎
								縄文早期	竪穴住居跡3基、土坑14基、集石38基、ピット8基	土器(前平式・吉田式・加栗山式・石坂式・下刺峯式・桑ノ丸式・押型文・貝殻条痕文・塞ノ神式・苦浜式)、打製石鏃、磨製石鏃、局部磨製石鏃、打製石斧、磨製石斧、磨石、敲石、石皿、礫器		
								縄文後期	集石1基、竪穴住居跡3軒、土坑1基、埋設土器1基	土器(指宿式・中岳Ⅱ式)、晩期土器、土器片(貝殻条痕文)、石鏃、打製石鏃、打製石斧、磨石、敲石、石刀		
								縄文後・晩期	土坑3基、溝状遺構2条、帯状硬化面2条、炭化物集中域	土器(中岳Ⅱ式・晩期)、土器片(貝殻条痕文)、石鏃、打製石斧、敲石		
								弥生	竪穴住居跡6軒、高床建物跡1棟、掘立柱建物跡2棟	土器(入来Ⅱ式、山ノ口式)、磨製石鏃、磨製石斧、石匙、石斧、石錘、磨石、砥石		
								中・近世・近代	道路状遺構20条、道跡1条、溝状遺構4条、土坑2基、帯状硬化面1条			
								その他(時代幅あり)		碗状軽石製品(縄文～弥生)		

県立埋蔵文化財センター
第一調査係の成果(県事業関係の調査)

報告書作成・整理作業

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象 表面積 (m)	調査 年度	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者	
2	本御内遺跡	霧島市	教育委員会 学校施設課	国分高等学校 校舎改築	整理 報告書 刊行			縄文早期		塞ノ神式土器			藤島 福園
								縄文後期		市来式土器			
								縄文晩期		土器(入来式・黒川式)、 打製石斧、磨製石斧			
								弥生中期	竪穴状遺構1基、炭化物 集中区1か所	山ノ口式土器			
								弥生後期		土器(免田式・東九州系 (日向系及び安国寺系))			
								古墳	溝状遺構1条	成川式土器(中津野・東 原段階中心)、甕、鉢、 壺、高坏、埴、ミニチュア 土器、石包丁			
								古代	溝状遺構2条	土師器(杯・皿・壺・甕)、 須恵器(壺・壺)、青磁 (越州窯)、白磁、緑釉陶 器、布目瓦(平・丸(無 段・有段)・軒平・軒丸)			
								中世	溝状遺構6条(挟まれた 土壇状遺構3基)、大型 土坑9基、竈跡9基、鍛冶 炉跡1基、掘立柱建物跡 (確定は3基。他検討 中)、開渠1基、土坑墓3 基、石組遺構1基	土師器(杯・皿・壺・内黒・ 高坏)、青磁、白磁、青 花、播鉢、茶釜、石臼・茶 臼、板碑・石塔、刀子、釘			
								近世		陶磁器、陶器			
								近代	高等女学校寄宿舎跡(大 正)	アイロン(青銅製)、瓶類			
時期不明		軽石製品、紡錘車、砥石											
3	鹿児島 (鶴丸)城跡	鹿児島市	県民 生活局 生活・ 文化課	鹿児島(鶴丸)城跡 保全整備	整理		H26 ~ H29	近世	排水溝、石垣背面納穴 列、石列、裏込、御楼門 部、礎石周囲の三和土・ 漆喰面、地業、兵具所跡 (基礎、排水溝、焼土)、 溝状遺構、柱痕跡、石列 の抜き痕?、唐御門関連 遺構?柱痕、石垣、井 堰、御角櫓部(基礎、雨 落ち、排水溝)、瓦積層状 遺構、水槽状遺構、能舞 台痕、土塁、樹状遺構	瓦(平・丸・刻書瓦・「ろ十 五」・鬼瓦・飾り瓦片・花 十字紋)、陶磁器(碗・皿・ 壺等)、釘、排水溝の板 石?、寛永通宝、鉛片、 日時計			中村 永演 福園
								近世~近代	瓦集積、焼土、鑄鉄管、 硬化面	ガラス製品、金属製品、 瓦、陶磁器、琉球通宝			
								近代	排水路、鑄鉄管				
								近・現代	コンクリート根石、鑄鉄 管、岩崎行親銅像台座、 礎石(柄あり)、漆喰面、 砲・銃弾跡、土管、天文 観測室跡、焼土	瓦(平瓦・丸瓦)、陶磁 器、島津家銅像銘板「君 像」部分、ガラス製品、金 属製品、一銭銅貨、砲弾 片、銃弾			
4	原村遺跡	曾於市	土木部道路 建設課	飯野松山都城線 (末吉道路)改築	整理	30.200	5月 ~ 2月	縄文早期	集石35基、土器集中1 基、落し穴状遺構4基、土 坑4基、竪穴住居跡1軒	土器(岩本式・前平式・加 栗山式・吉田式・石坂式・ 押型文・下剥差式・辻タイ プ・桑ノ丸式・平栴式・塞 ノ神A・B式・吉浜式)、打 製石鏃、スクレイパー、 局部磨製石斧環状石 斧、球状耳飾?磨石、石 皿、フレーク、チップ			中村 (和) 山崎
								縄文後期	土器埋設遺構、土坑2基	土器(中岳Ⅱ式、上加世 田式、疑似磨消縄文)、 線刻磔			
								縄文晩期	土坑8基	土器(入来式・黒川式・刻 目突帯文・組織痕)、打 製石鏃、磨製石製品、打 製石斧、フレーク、チップ			
								弥生	竪穴住居跡2軒、土坑2基	土器(高橋Ⅱ式・入来Ⅰ 式・Ⅱ式・山ノ口Ⅰ式・Ⅱ 式・瀬戸内系)、勾玉、磨 製石鏃			
								古墳	土坑2基	鉄鏃、成川式土器			
								古代	ピット	須恵器、土師器、鞆の羽 口、鉄滓			
								中世	土坑2基	白磁、青磁			
								近世	溝状遺構7条、土坑2基、 硬化面、大型道路状遺 構3条	染付、薩摩焼、キセル、 寛永通宝			

県立埋蔵文化財センター
第二調査系の成果(県事業関係の調査)

発掘調査

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象 表面積 (㎡)	調査 期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	石鉢谷A 遺跡	鹿屋市	教育委員会 文化財課	県内遺跡 事前調査	確認	4,265	6月	縄文早期		土器片1点, 被熱破砕礫8 点	・早期の集石と思われる被 熱破砕礫が出土	倉元 松山
	7,700					縄文晩期			土器片2点			
	11,000 (3,420)					11月	古墳	溝1条, 住居跡1軒, 地下 式横穴?1基, 土坑?3 基, 不明1基	成川式土器	・古墳時代の集落跡が残 存している可能性が高い		
	17,700 (13,590)	縄文早期						礫数点, 剥片石器	・古代～古墳の遺構が多く 残存している可能性			
		縄文中期 ～晩期				溝?1条, 土坑4基	条痕文土器, 打製石斧, 黒曜石, 黒曜石破片, 石 鏃, 礫					
		古墳				住居跡?1軒	成川式土器					
		古代				ピット8基, 溝3条, 土坑4 基	土師器					
520	11月 ～ 12月	時期不明	土坑3基, 土坑?6基, ピット1基, 住居跡?1 軒, 溝?1条									
		縄文早期	集石1基	土器(塞ノ神B式・加栗山 式)	・縄文早期の遺構が良好 に残っている可能性が高 い							
縄文前～中 期		土器(深浦式?)										
古代	焼土1基											
2	滝ノ上火薬 製造所跡	鹿児島市		西南戦争 関連遺跡		2,900	11月 ～ 12月		石垣, 石積み施設, 導水路, 地業, 礎石, 落水口 (水車引き込み口また は、水量調整のための 水路)	平瓦, 陶器	・石垣や導水路の良好な 状況での残存が確認 ・絵図と検出された石垣や 導水路の配置が一致 ・西南戦争前後の姿に近 いと推定	湯場崎 黒木 宗岡
3	川上遺跡	鹿屋市	土木部 道路建設課	大隅縦貫道 整備	本調査	21,500	5月 ～ 2月	縄文早期 後半		土器(平袴式・塞ノ神A・B 式・苦浜式・早期末条痕 文), 打製石鏃7点	・アカホヤ火山灰層直下か ら、条痕文土器が出土	岩永
	弥生							円形周溝1基, 散礫1ヶ 所				
	縄文早期 後半							石鏃製作所4カ所, 集石 3基, 散礫6カ所, 炭化木 集中2カ所	土器(手向山式・平袴式・ 塞ノ神A・B式・右京西 式), 打製石鏃, 石匙, 磨 製石斧片	・古墳時代と考えられる古 道を検出した		
	弥生								山ノ口式土器			
	古墳							古道7条	成川式土器(中津野式・ 詳細不明)			
	古代							古道1条				
	弥生								山ノ口式土器, 線刻土器			
	古墳～古代							古道跡15条, 溝跡1条				
中世～近世	古道跡5条		・紫コウ層直下から、古代 と考えられる古道跡を9条 検出した									
近代		機銃弾2点										
不明		炉外流出滓, 楕型滓, 鉄 製品										

県立埋蔵文化財センター
第二調査系の成果(県事業関係の調査)

報告書作成・整理作業

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象 表面積 (m)	調査 年度	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	河口 コレクション	奄美市ほか	教育委員会 文化財課	河口 コレクション 整理活用	整理 報告書 セ(198)	—	H30	(掲載遺跡) 浜坂貝塚(縄文時代後期～弥生時代中期) 宇宿貝塚(縄文時代中期～縄文時代晩期) 朝仁貝塚(中世～近世) 嘉徳遺跡(縄文時代中期～縄文時代晩期) 喜念貝塚(縄文時代晩期～弥生時代中期) 面縄貝塚(縄文時代中期～古代) 住吉貝塚(縄文時代後期～弥生時代初頭) 中甫洞穴(縄文時代早期～古墳時代)			・既発表の遺物を再実測し、未発表の遺物を図化した。また、未発表の写真や調査記録を公表した	倉元 松山
2	中津野遺跡	南さつま市	土木部 道路建設課	一般国道 270号 (宮崎バイパス) 改良	整理		H18 ～ H21 H25 ～ H29	旧石器 縄文早期 縄文前期 縄文中期 縄文後期 縄文晩期 弥生 古墳 古代 中世 中近世 近世 時期不明	礫群7基、土坑2基 集石2基 集石3基 集石4基、土坑7基、遺物 集中(土器10・軽石製品 1・石斧1・メノコ1) 竪穴住居跡7軒、土坑16 基、集石1基、溝状遺構2 条 掘立柱建物跡7棟、土坑 7基、溝状遺構9条、道跡 11条、硬化面1条、焼土 域2、柱坑約600基 掘立柱建物跡8棟、溝状 遺構8条、帯状硬化面1 条、竪遺構3基、大型土 坑3基、土坑1基、暗渠遺 構、杭列20列程度、足跡 状遺構、柱穴 土坑3基、柱穴	ナイフ形石器・剥片 土器(吉田式・平袴式) 土器(轟式・曾畑式・深浦 式) 土器(春日式・船元式) 土器(指宿式・磨消糸・松 山式・市来式・丸尾式・西 平式)、石器(石鏃・石匙・ 打製石斧・磨製石斧・スク レイバー・擦切石器・異形 石器・磨石・敲石・石皿)、 軽石製品、円盤状土製品 土器(黒川式) 土器(高橋式・入来式・山 口式・須玖式・黒髪式・ 免田式)、石器(石鏃・石 包丁・打製石斧・磨製石 斧・磨石)、菅玉 土器(成川式)、木製品 (三叉鏃) 墨書土器 土師器、須恵器、白磁、 青磁、古銭 土師器、須恵器、白磁、 青磁、古銭、薩摩焼、陶 器、磁器 薩摩焼、陶器、寛永通 宝、敷粗朶、敷丸太、下 駄、犁 鉄製品、鉄滓	・船の部材、木製品の把握 ・縄文後期前半～中頃の 土器が大量に出土 ・大まかな遺物種別の把握	宗岡 湯崎 島崎
3	木佐木原遺跡	始良市		主要地方道 伊集院蒲生 溝辺線改良	整理		H25 ～ H28	縄文 中期～後期 古代 中世 近世 時代不明	土坑1基、炉跡1基 炉跡2基 竪穴建物跡1軒、掘立柱 建物跡2棟、土坑2基、炉 跡1基、柱穴120基 土坑1基、溝状遺構3条 溝状遺構10条	土器(並木式・阿高式・南 福寺式・岩崎下層式・岩 崎上層式・中津式・大平 式・指宿式)、石鏃(頁岩・ ob)、石核、チップ・フレー ク、磨石、敲石、石皿、軽 石製品、打製石斧、磨製 石斧ほか 土師器、須恵器 土師器、須恵器、青磁、 白磁 薩摩焼(播磨等)陶磁器 (産地不詳碗・皿等)	・縄文中期後半～後期前 半の遺物のパリエーション の把握 ・土師器焼成遺構(古代)	黒木 宮崎

市町村支援

No	市町村名	遺跡名	支援要件	時代	注目される成果・支援内容等	市町村担当	センター担当者
1	大崎町	横瀬古墳	報告書	古墳	【調査成果】 【支援内容】 遺物の取り扱い等についての打ち合わせ	内村憲和 大野泰輔	大久保浩二 森幸一郎 黒木梨絵
2	南さつま市	上加世田遺跡	整理		【調査成果】 【支援内容】 ・遺物の実測方法、整理作業工程等の指導・作業支援 ・河口コレクション所蔵品確認作業 ・文化庁との協議	佐々木幸男 松崎美咲	中村和美 森幸一郎 黒木梨絵
3	東串良町	唐仁古墳群ほか	緊急支援 測量支援・指導		【調査成果】 【支援内容】 ・畑陥没現場(下之馬場)に係る支援・指導、試掘調査 ・唐仁古墳群(17号墳)隣地試掘調査 ・33号墳隣接地試掘調査 ・測量委託成果品チェック	吉留潤一郎 大崎 彩	中村和美 黒木梨絵
4	中種子町	餌袋遺跡	報告書作成		【調査成果】 【支援内容】 整理作業状況の確認、遺構・遺物の分類等	稲垣友裕	中村和美
5	喜界町	カシノテB遺跡 ケブラノコン遺跡 ケブラノ前遺跡	整理		【支援内容】 中間検査視察(原村遺跡)	来 和法 岩元さつき	中村和美 森幸一郎
6		川寺・川尻遺跡	整理		【調査成果】 【支援内容】 遺物指導	野崎拓司 安武憲史	堂込秀人
7	阿久根市	松木弘安(寺島宗則)旧家	試掘		・試掘調査の指導・支援 ・礎石等検出	宮田大之	中村和美
8	肝付町	塚崎古墳群	緊急対応	古墳	【調査成果】 【支援内容】 9号墳・51号墳修復調査	横手伸太郎	藤島伸一郎
9	南九州市	清水磨崖仏(弁財天岡)	整理		【支援内容】 出土遺物指導	上田 耕 上村純一	中村和美
10	伊仙町	史跡 徳之島 カムイヤキ陶器窯跡	イベント		シンポジウム 「きて、みて、まなぶ徳之島のカムイヤキ～焼き物づくりから歴史を知り、語る～」	新里亮人 榎本美里	森幸一郎
11	知名町	屋者琉球式墳墓ほか	発掘		整理・報告書作成指導	宮城幸也	堂込秀人
12	和泊町 知名町	和泊の古墓 知名の古墓	発掘		報告書作成指導	北野塚重郎 宮城幸也	堂込秀人 中村和美 倉元良文 福岡慶明 黒木梨絵
13	長島町	指江古墳	県指定		測量業務の確認	丸橋雄太	中村和美

南の縄文調査室

項 目		実 績
1	調査研究	『研究紀要・年報 縄文の森から』第11号刊行
	収蔵管理	前年度報告書刊行分の遺物収納・整理 収蔵庫整理・清掃
	図 書	新着図書（受領本の登録、受領書返送） 1,343冊（H31年1月31日時点） 新規登録本データ入力 →新規登録本数 1,343冊（PC移行済、総登録冊数 63,273冊）（H31年1月31日時点） 在庫書籍・棚整理、蔵書点検、「河口コレクション」の新聞切り抜き整理
	データのデータベース登録	各サーバ機等メンテナンス データベース登録：H29年度刊行分10遺跡15,316件の入力終了（累計：447遺跡，577,942件） 遺跡GIS修正：1,132件（11市8町2村）
	分 析	X線撮影 330点 六反ヶ丸遺跡，安良遺跡，川久保遺跡 ほか 蛍光X線分析 43点 本御内遺跡，安良遺跡，見帰遺跡，小牧遺跡 ほか 赤外線カメラ撮影 20点 六反ヶ丸遺跡，上加世田遺跡（南さつま市） ほか
2	埋文だより	76号，H30/6/29発行 「中世の武家屋敷跡，発見！発掘速報（火除地跡，山ノ上B遺跡，原村遺跡，川久保遺跡），上野原遺跡今昔，企画展講演会，普及・啓発活動（現地説明会（本御内遺跡），中学生職場体験ほか），平成30年度発掘調査予定遺跡」 77号，H30/10/31発行 「中世の人々の想い（宇都上遺跡），発見！発掘速報（鹿児島城跡，原村遺跡，木森遺跡，荒園遺跡，六反ヶ丸遺跡），上野原遺跡今昔，遺跡公開（春日堀遺跡），百聞は一見に如かず（パワーアップ研修，専門職員養成講座）」 78号，H31/2/28発行 「日本最大級の火薬製造所跡（滝ノ上火薬製造所跡），発見！発掘速報（宇都上遺跡，鹿児島城跡，川上・鶯原遺跡他），かごしま遺跡フォーラム2018，埋文出前授業，発掘現場公開！（原村遺跡，六反ヶ丸遺跡）」
	WEB公開 館内展示 フォーラム開催	WEB公開 HP更新・修正：133回（H30/2/10～H31/1/31） 企画展特設ページ・デジタル文庫（各種たより，遺跡フォーラム等）の更新，新コンテンツ「西南戦争を掘り，学ぶ」開始，森ホームページ改修 HPアクセス数：22,428件（H30/4/1～H31/1/31） 館内展示 センター2階：廊下一品「足形土製品」 フォーラム開催 かごしま遺跡フォーラム2018「大隅半島の考古学～道路の下のものがたり～」開催（H30/10/13，志布志市文化会館ホール，268名参加）
	資料等貸出等	資料調査…28件（利用者：大学・研究所・博物館・自治体等の研究者，学生等） （目的：遺物閲覧・圧痕調査等） 資料貸出…61件（文化庁列島展，東京国立博物館，パリ日本文化会館，国立歴史民俗博物館，各自治体博物館等） 施設利用…7件（精密分析室（電子顕微鏡・蛍光X線分析装置・金属顕微鏡等），鉄器処理室（X線撮影装置），写場，図書室等） (平成31年2月8日現在)
3	木器処理	H30年度処理済み PEG含浸法 22点（虎居城跡，柵城跡，南下遺跡） トレハロース含浸法 91点（虎居城跡，南下遺跡，寿国寺跡）
	金属器処理	H30年度処理済み 金属（鉄製品，銅製品）…230点（本御内遺跡，河内山鉦山跡，根占原台場跡，知覧飛行場跡，川久保遺跡 ほか）
4	企 画 展 ほ か	上野原縄文の森企画展 第51回企画展「バックナンバー 古の美術品」 平成30年4月24日（火）～8月26日（日） 企画展講演会 平成30年5月12日（土）・8月4日（土） 第52回企画展「道路の下の物語 ～新発見！かごしまの遺跡2018～」 平成30年9月8日（土）～11月25日（日） 企画展講演会 平成30年9月15日（土）「知覧道路の物語」「東九州道の物語」 第53回企画展「弥生もスゴイ！かごしま」 平成30年12月7日（金）～平成31年3月21日（木・祝） 河口コレクション常設展示（上野原縄文の森にて展示） 第1回 「骨が語るむかしのくらし」（市来貝塚） 平成30年5月19日（土）～9月21日（金） 第2回 「河口貞徳氏の軌跡Ⅰ」（一の宮遺跡・草野貝塚・大原遺跡・春日町遺跡） 平成30年9月22日（土）～平成31年1月18日（金） 第3回 「標式遺跡シリーズⅡ」（上加世田遺跡・入佐遺跡・黒川洞穴） 平成31年1月19日（土）～5月17日（金）
	環境調査	縄文の森展示館，地層観察館，遺跡保存館，センター内の温湿度データ計測・報告

(公財)埋蔵文化財調査センター
調査第一系の成果

発掘調査

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象面積	調査期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	春日堀	志布志市有明町蓬原	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	東九州自動車道建設	本調査	4,850	5月～11月	縄文早期	竪穴住居跡17軒、連穴土坑90基、集石229基、土坑324基、石器製作所跡17か所、落とし穴5基	土器(前平式、吉田式、石坂式、下剥釜式、桑ノ丸式、押型文)、石鏃、トトロ石器、スクレイパー、剥片、軽石製品、石皿	・縄文時代早期前～中葉の集落跡を検出。調査成果(H26～30)は以下のとおりである。 ○竪穴住居跡32(押型文土器の時代の遺構4は県内初) ○集石468(県内最多) ○連穴土坑130(県内最多) ○土坑379 ○石器製作跡17	川口木之下 国際文化財(株)
								古墳	竪穴住居跡2軒	土器(東原式)、軽石製品、凹石、砥石		
								中世	溝跡2条、ビット7基	白磁		
2	荒園	曾於郡大崎町飯宿	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	東九州自動車道建設	本調査	1,892	5月～8月	縄文早期	磨石集積遺構2基、集石4基	土器(下剥釜式、押型文、塞ノ神A・B式、苔浜式)、石鏃、磨石、敲石	・縄文時代早期の遺構・遺物のほかに、過年度に報告された溝状遺構(片葉研堀)の延長部分が検出された。	吉岡辻木場
								弥生		土器(山ノロ式)		
								古代以前	溝状遺構(片葉研堀)	※埋土中に縄文早期土器・礫混入。その他時代を特定できる遺物なし。		

整理作業・報告書作成

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象面積	調査年度	時代	遺構	遺物	成果	担当者
1	見帰	志布志市志布志町志布志	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	東九州自動車道建設	整理報告書	—	H28	旧石器		ナイフ形石器、細石器、礫石器	・旧石器時代では、細石刃・ナイフ形石器が出土した。 ・縄文時代前～中期の落とし穴2基が検出された。	西園大坪
								縄文早期		土器(石坂式、下剥釜式)、石鏃、磨石、叩石、石鏝		
								縄文中期	土坑5基			
								縄文後期		土器(丸尾式、納管式、西平式)、石鏃、磨石、叩石、石鏝		
								古代～近世		土師器、薩摩焼、染付		
								時期不明	溝状遺構4条	土器(丸尾式、納管式、西平式)、薩摩焼、染付、磨石、叩石、石鏝		
2	安良	志布志市志布志町安良	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	東九州自動車道建設	整理報告書	—	H28～H29	縄文早期	集石1基	土器(小牧3Aタイプ、札ノ元VII類、条痕文)、打製石鏃	・中世の柱穴の中から炭化米塊(ご飯・粉)が検出された。内容は以下のとおりである。 ○ご飯塊は1か所、靱塊は2か所確認され、それぞれ周辺に焼土を伴う。 ○ご飯塊は、一部に植物質圧痕が確認された。 ○靱塊は粒の方向が一定で、種の状態であった可能性がある。 ○年代測定では、ご飯塊は12世紀後半～13世紀中頃、靱塊は13世紀代との結果が得られた。 ○炭化ご飯塊は九州での報告例は他になく、出土状況が明確な例は全国的に少ない。 ○遺物が出た柱穴周辺には、焼土の他に土師器(皿・杯)や古銭を伴う柱穴も集中しており、何らかの儀礼・祭祀が行われた可能性がある。	上床
								縄文後期	土坑1基	土器(丸尾式、市来式、納管式、太郎迫式、中岳II式)、石製垂飾品		
								弥生	竪穴住居跡2軒、土坑1基	土器(高橋式、山ノロII式、中溝式)、打製石斧、磨製石鏃		
								古墳	竪穴住居跡11軒、溝状遺構3条、地下式横穴墓1基	土器(菅貫式新段階)、須恵器、鉄製品		
								古代	土坑1基、帯状硬化面1条(紫コラ含む)	土鏝		
								中世	掘立柱建物跡3棟、大型掘立柱建物跡1棟、竪穴建物跡6棟、溝状遺構4条、土坑130基、柱穴列5か所、礫集積4基	土師器、瓦質土器、瓦器(桶葉型、泉型)、国産陶器(東播系、備前焼、瀬戸焼、常滑焼等)、陶磁器(青磁、白磁、青白磁、天目、中国産陶器等)、滑石製石鍋、砥石、金属製品(釘、刀子、紡錘車、火打金等)、銭貨(元豊通宝、元祐通宝、皇崇通宝)、鞆羽子、鉄滓(碗形滓、鉄塊系遺物等)、土鏝、炭化モモ核、炭化穀類(炭化調理米塊、炭化靱塊)、炭化木、貝殻		
								近世	土坑1基、帯状硬化面数条	薩摩焼、備前系磁器、寛永通宝		
								時期不明	帯状硬化面数条	鉄器類		

(公財)埋蔵文化財調査センター
調査第一系の成果

整理作業・報告書作成

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象面積	調査年度	時代	遺構	遺物	成果	担当者
3	小牧古墳群				整理	—	H27 ~ H28	旧石器		礫石器、ナイフ形石器、細石器	*縄文時代早期の集石は、検出層によって構成礫の大きさに差が見られる。 *塞ノ神式土器の壺形土器、耳栓、異形石器、円盤状石器等が出土した。	抜水
								縄文草創期	集石3基	土器(小片)、磨石、石皿		
								縄文早期	集石39基、土坑1基、石器製作跡1か所	土器(前平式、吉田式、石坂式、下剥釜式、中原式、押型文、平柄式、塞ノ神式)、耳栓、石鏃、石匙、石錐、円盤状石器、異形石器、打製石斧、磨石、石皿		
								縄文前期以降	土坑1基			
								弥生中期		土器(入来Ⅱ式、山ノ口式)、石包丁		
								古代~近代	溝状遺構2条、帯状硬化面6条	陶磁器、土師器、鉄滓		
4	春日堀	志布志市有明町蓬原	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	東九州自動車道建設	整理	—	H26 ~ H30	縄文早期	竪穴住居跡10軒、連穴土坑40基、集石200基、落とし穴2基、土坑35基、磨石集積	土器(前平式、加栗山式、石坂式、下剥釜式、桑ノ丸式、押型文、手向山式、塞ノ神式)、打製石鏃、打製石斧、磨石、敲石、台石、石皿、砥石、礫器、剥片、石核、トトロ石器、線刻礫	*H26~29の調査では、縄文時代早期の遺構・遺物群のほかに、弥生時代の竪穴住居跡、炭化材・土器集中部を伴う古墳時代の大型竪穴住居跡、埋土中に黄色パミス(P4?)と紫コラが堆積する溝状遺構等が検出された。	馬籠今村川口木之下
								縄文後期	落とし穴3基	土器(市来式、中岳Ⅱ式)		
								弥生	竪穴住居跡2軒	土器(山ノ口式)		
								古墳(東原)	竪穴住居跡5軒、土坑2基	甕、壺、高杯、鉄鏃		
								古墳(笹貫)	竪穴住居跡5軒、溝状遺構3条、掘立柱建物跡3棟、地下式横穴墓1基	甕、壺、高杯、埴、須恵器、線刻壺、磨石、敲石、棒状礫、砥石、台石		
								古代~中世	竪穴建物跡1軒、土坑1基、焼土跡1か所、掘立柱建物跡3棟	土師器、須恵器、白磁		
5	宮脇				整理	—	H27 ~ H28	旧石器	礫群2基	細石器、ナイフ形石器、台形石器、三稜尖頭器、スクレイパー、磨石、剥片	*旧石器時代では、石器製作に関連すると考えられる石核・フレック・チップが出土した。 *縄文時代早期の遺物が、約10,000点出土した。 *鬼界カルデラ噴火に伴う大地震による液状化現象の痕跡(噴砂)が、2層確認された。	抜水
								縄文早期	集石45基、土坑21基	土器(志風頭式、加栗山式、小牧3A式、倉園B式、下剥釜式、桑ノ丸式、押型文、手向山式、平柄式、塞ノ神式)、石鏃、石匙、石錐、打製石斧、磨石、石皿、石核、削器、軽石製品		
								中世・近世	井戸跡	青磁、薩摩焼、肥前系陶器、銭貨、煙管		
6	荒園	曾於郡大崎町仮宿			整理	—	H24 ~ H26 H30	旧石器		畝原型細石刃核、細石刃、水晶剥片	*H24~26の調査では、旧石器時代の畝原型細石刃核、縄文時代早期の集石、弥生時代~古墳時代の竪穴住居跡、古代以前の溝状遺構(片栗研堀)、中世の掘立柱建物跡等が検出された。	吉岡木場
								縄文早期	集石、剥片集中区、土坑	土器(前平式、吉田式、加栗山式、下剥釜式、押型文、手向山式、平柄式、塞ノ神式、菅浜式、壺形土器、耳栓)、石鏃、スクレイパー、石匙、石斧、磨石、敲石、石皿		
								弥生中期	竪穴住居跡、土坑	土器(吉ヶ崎式、山ノ口式)、磨製石鏃未製品、砥石		
								古墳	竪穴住居跡	土器(東原式、笹貫式)、須恵器、砥石		
								古代以前	溝状遺構(片栗研堀)	※埋土中に縄文早期土器・礫混入。その他、時代を特定できる遺物なし。		
								中世	掘立柱建物跡、土坑、溝状遺構、帯状硬化面	土師器、東播系須恵器、青磁、華南三彩		
								近世以降	帯状硬化面	薩摩焼		

(公財)埋蔵文化財調査センター
調査第一系の成果

整理作業・報告書作成

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象面積	調査年度	時代	遺構	遺物	成果	担当者
7	永吉天神段	曾於郡大崎町永吉34-5ほか	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	東九州自動車道建設	整理報告書	—	H24～H27	旧石器		ナイフ形石器	<p>・弥生時代中期の円形周溝墓を中心とする土坑墓群から、国内最古級の鉄鏃が出土した。</p> <p>・中世では、白磁・青磁・瓦質土器・東播系須恵器等が多量に出土した。</p> <p>・地下式坑と呼ばれる、中～近世の大型土坑が検出された。</p>	横手相良(株)パスコ
								縄文早期	竪穴住居跡2軒、集石4基、土坑1基	土器(前平式、下剥峯式)、石鏃、磨石、凹石		
								縄文晩期	竪穴住居跡1軒、土坑2基、埋設土器1か所	土器(入佐式、黒川式、刻目突帯文)、管玉、打製石斧、磨石、石皿		
								弥生	竪穴住居跡9軒、円形周溝墓1基、土坑墓群、掘立柱建物跡7棟	土器(入来式、山ノ口式、黒髮式、朝鮮系無文)、鉄鏃、磨製石鏃、管玉、磨製石製品、砥石		
								古墳	竪穴住居跡1軒、土坑6基、焼土跡1基	土器(成川式)、須恵器、ベンガラ		
								中世	地下式坑7基、土坑6基、溝状遺構2条	青磁、白磁、土師器、瓦質土器、東播系須恵器、備前焼、常滑焼、稜花皿、石塔、砥石、古銭		
								近世	土坑1基	薩摩焼、染付、寛永通宝、石臼		
								時期不明	土坑1基、焼土跡1基、軽石集積1基	石鏃、打製石斧、敲石、軽石製品、碗形滓		

(公財)埋蔵文化財調査センター
調査第二系の成果

発掘調査

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象面積	調査期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	田原迫ノ上	鹿屋市串良町細山田	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	東九州自動車道建設	本調査	3,208	9月～1月	縄文早期	竪穴住居跡1軒、土坑1基、集石土坑1基、集石8基	土器(石坂式、押型文)、石鏃、磨製石斧、磨石	・縄文時代早期の集石のうち1基は、径約1m・深さ約50cmの掘り込みを伴い人頭大の礫で構成される。 弥生時代では、ベッド状遺構を伴う方形の竪穴住居跡が検出された。	徳永高吉 樋之口平木場新屋敷郷原(西園)(上床)
								弥生	竪穴住居跡1軒、掘立柱建物跡1棟、円形周溝1基、土坑2基、ビット数基	土器(山ノ口式)、打製石斧		
2	立小野堀	鹿屋市串良町細山田			本調査	595	12月～2月	古墳	地下式横穴墓3基、土坑1基	土器(成川式)	・地下式横穴墓が南北に3基検出された。道路造成のため玄室部は陥没していたが、1基から閉塞材と思われる炭化材が出土した。	
3	六反ヶ丸	出水市六月田町	国土交通省九州地方整備局 鹿児島国道事務所	南九州西回り自動車道建設	本調査	2,849	5月～1月	縄文晩期		土器(条痕文、黒川式)	・弥生～古墳時代では、多くの遺物を伴う円形の竪穴住居跡が12軒検出された。最大のは直径8mを超える規模のものである。 古代では、礫と土器を土と混ぜ合わせ、造成した礫敷遺構が検出された。この遺構は、官道の可能性もある。また、土師器を焼いた土器焼成土坑が検出された。 時期不明であるが、小形仿製鏡の埋納遺構も検出された。	平木場(有馬)(福永)(川口)(株)島田組
								弥生～古墳	竪穴住居跡12軒、土器集中2か所、土坑5基、ビット(多数)	土器(布留式系、中津野～東原並行期)、鉄鏃、磨石、敲石、石皿、台石、凹石、砥石		
								古代～中世	礫敷遺構1か所、掘立柱建物跡2棟、土器焼成土坑1基、土坑8基、ビット(多数)、柱穴列2か所	土師器、内黒土師器、須恵器、瓦質土器、土鏝、羽口、砥石、鉄製品		
								近世～現代	掘立柱建物跡5棟、土坑11基、竈跡3基、ビット(多数)、埋設遺跡2基、石組遺構2基、溝状遺構2条	陶磁器、瓦、石臼、煙管、古銭、青銅製鈴、鉄製品、土製人形		
時期不明	埋納遺構1基	石製品、鉄製品、小形仿製鏡、磨製石斧										

整理作業・報告書作成

No	遺跡名	所在地	事業主体	起回事業名	調査の種類	調査対象面積	調査年度	時代	遺構	遺物	成果	担当者
1	牧山	鹿屋市串良町細山田	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	東九州自動車道建設	整理	—	5月～1月	縄文早期	竪穴住居跡3軒、集石121基、土坑36基、石器集中2基、ビット268基、連穴土坑5基、石器製作跡2か所	土器(前平式、加栗山式、吉田式、倉園B式、石坂式、押型文、下剥峯式、桑ノ丸式、平裕式、塞ノ神式、無紋)、打製石鏃、磨石、敲石、石皿、台石、礫器、剥片、チップ	・旧石器時代～中世にかけての複合遺跡で、縄文時代後期の掘立柱建物跡と考えられる柱穴群(ビット819基)が環状で確認されている。また、埋設土器や石冠も出土している。	本高徳永福永高吉郷原
								縄文前期	土坑7基、落とし穴2基、ビット819基	土器(轟B式)、磨石、石皿		
								縄文後・晩期	掘立柱建物跡20棟、土坑93基、石器廃棄土坑1基、落とし穴5基、埋設土器5基、貯蔵穴1基、土器集中3基、石器集中13基、ビット1842基、硬化面1条	土器(市来式、松山式、西平式、丸尾式、中岳Ⅱ式、入佐式)、石鏃、石匙、打製石斧、磨石、敲石、石皿、台石、凹石、石冠、礫器、剥片、チップ		
								弥生	集石2基、土坑8基、落とし穴1基、埋設土器8基、石器集中17基、石器集中9基、玉髓埋納1基、道跡11条、硬化面4条、炭化物集中部1基	土器(山ノ口式)、打製石斧、石皿、磨石、敲石		
古墳		土器(成川式)										

(公財)埋蔵文化財調査センター
調査第二系の成果

整理作業・報告書作成

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象面積	調査年度	時代	遺構	遺物	成果	担当者
2	京の塚	曾於郡大崎町持留・鹿屋市串良町細山田	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	東九州自動車道建設	整理	—	H25 H26 H27	縄文早期	埋設土器2か所、集石18基	土器(中原式、石坂式、下剥釜式、桑ノ丸式、山形押型文、楕円押型文、手向山式、平栴式、塞ノ神式)、打製石鏃、異形石器、磨石、敲石、石核、フレーク、チップ	・縄文時代早期から中期初頭、近世以降の複合遺跡で、縄文時代前期から中期初頭が中心となる遺跡である。200基を超える縄文時代中期の土坑が検出されている。また、在地の深浦式土器だけでなく、近畿地方の大蔵山式土器や鷹島式・瀬戸内地方の船元式などが出土している。	鶴田森
								縄文前期		土器(管畑式)		
								縄文前期～中期	土坑約177基、土器集中23か所、石器製作跡2か所	土器(深浦式、大蔵山式、鷹島式、船元式、阿高式)、打製石鏃、石鏃未製品、石匙、石錐、スクレイパー、二次加工剥片、異形石器、塊状耳飾、磨製石斧、打製石斧、磨石、敲石、石皿、有溝砥石、砥石、原石、石核、フレーク、チップ・炭化種子、炭化材		
								縄文中期		土器(阿高式)		
								縄文後期	土坑2基、土器集中1か所	土器(幸川式、丸尾式、西平式、中岳Ⅱ式)、小玉		
								縄文晩期		土器(入佐式、黒川式)、打製石鏃、打製石斧		
								古墳		土器(成川式)		
								近世～近代	溝状遺構2条			
3	小牧	鹿屋市串良町細山田	国土交通省九州地方整備局 鹿兒島国道事務所	東九州自動車道建設	整理	—	H27 ～ H29	縄文晩期	土坑2基、集石2基、ビット1基	土器(入佐式、黒川式、刻目突帯文、組織痕土器)	・古墳時代の竪穴住居跡を中心とする遺構内出土の遺物の整理作業を中心に作業を行い、多くの土器が完形に復元できた。畿内系などの外来系土器が多く、在地土器との並行関係をとらえるのに良好な資料を得られた。	平屋 (株)九州文化財研究所
								弥生	土坑1基、竪穴住居跡3軒	土器(刻目突帯文、入来式、入来Ⅱ式、山ノ口式)、砥石、石鏃		
								古墳	竪穴住居跡15軒、雑集積8基、ビット1基、土器溜3か所、土器集中2か所、土坑12基	土器(布留式系、東原式、辻堂原式、笹貫式)、初期須恵器、軽石加工品、砥石、磨製石鏃、鉄鏃、勾玉、敲石、鉄製品、鉄器、管玉・臼玉		
								古代	焼土跡6基、土坑4基、溝状遺構4条、土器溜1基、掘立柱建物跡1棟、ビット35基	須恵器、土師器、土製紡錘車、墨書土器、土師壺、焼塩土器、土錘、鉄器		
								中世	掘立柱建物跡37棟、土坑30基、杭列11条、溝状遺構7条、竪穴建物2軒、焼土跡2か所、集石1基、ビット6基	土師器、青磁、白磁、刻書土器、東播系須恵器、合子、輪羽口、鉄製紡錘車、石鍋		
								近世	溝状遺構6条	薩摩焼、古銭、鉄砲玉		
4	六反ヶ丸	出水市六月田町	国土交通省九州地方整備局 鹿兒島国道事務所	南九州西回り自動車道建設	整理	—	H29 ～ H30	縄文後期		土器(磨消縄文)	・古墳時代前期のものが主体で、薄い器壁、タタキ痕を残す最終調整、明るい色調、壺の口縁部が内湾しているものも多く、布留式壺の影響を受けている。二重口縁壺が多く、口縁部タイプもバリエーションにとんでいるなど成川式土器とは異なる特徴を持つものが多い。	有馬
								縄文晩期	土坑1基	土器(黒川式)、磨製石斧、打製石鏃、磨石、剥片、敲石、石核、石皿、円盤形石器、石製品		
								弥生後期～古墳	竪穴住居跡1軒、土坑3基、埋設土器1基	土器(黒髪式、庄内式～布留式、肥後系、中津野式、東原式)、鉄鏃		
								古代	土坑1基、溝状遺構1条	須恵器		
								時期不明	柱穴列1か所、ビット多数			

(公財)埋蔵文化財調査センター
調査第三系の成果

発掘調査

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象面積	調査期間	時代	遺構	遺物	注目される成果	担当者
1	木森	志布志市有明町野井倉5282	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	東九州自動車道建設	本調査	4,110	5月～9月	縄文早期	竪穴住居状遺構1基, 集石遺構54基, 土器集中1基, 連穴土坑30基, 土坑10基, 噴砂跡	土器(前平式, 志風頭式, 加栗山式, 吉田式, 石坂式, 下剥釜式), 石鏃, 打製石斧, チップ	・中世の掘立柱建物跡や縄文時代早期の集石遺構, 連穴土坑等を検出した。連穴土坑が複数切り合う状況が多数確認されている。連穴土坑のなかには, 従穴の床面付近から角筒形の加栗山式土器が出土しているものがある。また, 連穴土坑の一部を集石遺構の掘り込みにて転用した事例も確認でき, 早期前葉の集落構造の一端をうかがえる好例である。	立神 (株)埋蔵文化財サポートシステム
								縄文中期		土器(春日式)		
								縄文後期		土器(凹線文系)		
								古墳～古代		須恵器		
								中世	掘立柱建物跡3棟, 柵列状遺構2基	土師器, 陶磁器		
								時期不明	土坑6基, 溝状遺構1条, 性格不明1基, ビット多数	鉄滓		
2	川久保	鹿屋市串良町細山田	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	本調査	1,299	12月～2月	古墳		土器(成川式), 叩石, 小玉	・平成29年度からの調査で, 遺跡が串良川の開析によって形成された河岸段丘面が崩落した場所に立地する可能性があることが判明している。旧地形は谷状を呈し, その上層から古墳時代の成川式土器(東原段階)の穿孔が施された壺形土器等が出土している。今年度の調査でも谷状地形の延長部分を検出し, 縄文時代晩期の遺物や古墳時代の遺物(土器・石器・小玉等)が出土している。	楸田本高太坪	
							古代		内黒土師器			
							時期不明	道跡? 2条				
3	石鉢谷A	鹿屋市古里町	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	本調査	2,150	11月～2月	縄文早期	集石2基	土器(塞ノ神Aa式), 石匙, 磨石, 石皿	・標高は, 125～139mで錦江湾へ向かって東から西へ傾斜する斜面に立地する遺跡である。本年度の調査では, 古墳時代に該当する層から成川式土器が出土した。 また, 縄文時代早期に該当する層からは, 集石2基と, 塞ノ神A式土器が出土した。	辻立神	
							縄文晩期		土器(型式確認中)			
							古墳	土坑1基	土器(成川式)			

(公財)埋蔵文化財調査センター
調査第三系の成果

整理作業・報告書作成

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因事業名	調査の種類	調査対象面積	調査年度	時代	遺構	遺物	成果	担当者
1	川久保 A・D	鹿屋市串良町細山田	国土交通省九州地方整備局 大隅河川国道事務所	東九州自動車道建設	整理	—	H26～H29	旧石器～縄文草創期	礫群26基、連穴土坑1基、ブロック4か所	隆帯文土器、無文土器 石鏃3点、細石刃、礫石器2点、細石刃核(畦原型)、チップ、フレーク	・旧石器時代から中世までの複合遺跡である。 旧石器時代では、多数の礫群とともにナイフ形石器文化期の剥片尖頭器、三稜尖頭器、ナイフ形石器と細石刃文化期の細石刃核など良好な資料が得られている。三稜尖頭器のなかにはキメの粗い砂岩製で厚手の剥片を用いたものが認められ注目される。細石刃核は畦原型細石刃核の出土が県内最多となっている。 縄文時代早期は連穴土坑や多数の集石が検出されている。集石の土壌サンプルを洗浄した結果、隣基植物の炭化物が抽出され当時の植物利用のあり方を考えるうえで貴重な資料となる可能性がある。 古墳時代では、集落を構成する多数の堅穴住居跡や製鉄・鍛冶関連遺構が発見されているほか、専用の輪の羽口が出土している。古墳時代の鉄と鉄製品の生産過程を明らかにする良好な資料である。製鉄の過程で鉄塊の中に取り込まれた炭化物の年代測定を実施したところ、7C後半から8世紀後半にピークをもつ分析値が出ており、南九州における製鉄開始時期が遡る可能性をもつ成果である。	三垣 椒田
								縄文早期	連穴土坑12基、集石278基、石器製作跡3か所、遺物集中3基、土坑	土器(前平式、加葉山式、倉園B式、石坂式、手向山式、妙見・天道ヶ尾式、塞ノ神式、変形擦糸文、苦浜式、早期末条痕文)、耳栓3、打製石斧1、石匙9、打製石鏃47、石槍2、磨石19、スクレイパー4、石皿7、台石4、石製垂飾品1、剥片石器、石核		
								縄文前期	集石9基	土器(西之園式、管畑式)、磨製石斧2、打製石鏃6、石匙3、スクレイパー1、磨石1		
								縄文後期		土器(岩崎上層式、中岳Ⅱ式)		
								縄文晩期	土坑1基、集石4基、遺物集中1基	土器(上加世田式、黒川式、刻目突帯文、組織痕)、打製石斧86、磨製石斧3、打製石鏃9、磨製石鏃2、石匙3、スクレイパー3、石皿6、台石1、磨石12、敲石3、石製穂摘具1、石製穂摘具未製品1、大型軽石加工品1、石鏢2、土錘1、赤色顔料塗布動物形土製垂飾品1		
								弥生	堅穴住居跡1軒、土坑1基	土器(高橋式、入来Ⅱ式、山ノ口Ⅱ式、免田式、線刻)		
								古墳	堅穴住居跡74軒、鍛冶関連遺跡2棟、鍛冶炉跡2基、鍛冶関連土坑2基、古道7条、溝状遺構1条、方形周溝1基、土坑、土器集中2か所	成川式土器(東原式、辻堂原式、笹貫式)、鉄鏃4、鉄斧2、鉄製品1、石製品1、粟玉1、土製勾玉1、鉄滓、鉄滓粒、鍛造剥片、輪の羽口1、砥石2		
								古代	土坑3基、溝状遺構1条	内黒土師器、須恵器		
								中世	掘立柱建物跡13棟、堅穴建物跡1軒、土坑墓2、焼土3か所、礫集中1か所、道跡3条、溝跡5条、土坑、柱穴群	白磁、青磁、土師器、東播系須恵器、朝鮮系陶磁器、碁笥底皿、古銭26、滑石製品、土製品、砥石6		
								近世	掘立柱建物跡1棟、炭窯跡2基、炭堆積土坑2基、廃棄土坑1基、道跡1条、土坑、柱穴群	薩摩焼、古銭1、五輪塔、石臼、鉄釘		
時期不明	焼土跡1(計1)											
2	川久保 B			整理	—	H26～H28	縄文早期	集石9基、土坑1基	土器(下剥峯式、塞ノ神式)、磨製石斧、石鏃、磨敲石、穿孔線刻礫	・C地点・D地点の間に位置し、谷へとやや傾斜した地形である。遺構・遺物とも最も多く確認されたのは古墳時代前半～中頃であり、完形復元できる個体も得られている。なかでも、壺形土器で被熱痕のみられるものが複数確認され、煮沸具として転用したものと考えられる。また、頭部から上を打ち欠いた可能性のある壺形土器もあり、当時の土器利用のあり方を検討できる重要な資料といえる。	真邊 大保 大福コンサル タント(株)	
							縄文晩期	集石2基、土坑2基	土器(入佐式、黒川式、刻目突帯文)、打製石鏃、石匙、打製石斧、磨石、石庖丁、石皿、台石、スクレイパー、横刃形石器、挟入石器、十字形石器			
							古墳	掘立柱建物跡3棟、礫集中16か所、埋設土器1基、土器集中5か所、道跡、溝状遺構、土坑、ピット	成川式土器(東原式～辻堂原式)、砥石			
							中世～近世	土坑墓1基、掘立柱建物跡3棟、礫集中2か所、道跡、溝状遺構、土坑、ピット	白磁、青磁、土師器、須恵器(東播系)、青花、古銭			

(公財)埋蔵文化財調査センター
調査第三系の成果

整理作業・報告書作成

No	遺跡名	所在地	事業主体	起因 事業名	調査の 種類	調査対象 表面積	調査 年度	時代	遺構	遺物	成果	担当者
3	川久保 C	鹿屋市 串良町 細山田		東九州 自動車道 建設	整理 報告書	—	H27 ～ H29	旧石器		三稜尖頭器、石錐、搔器、削器、 石核、剥片、砕片	・旧石器時代から近世にかけて の成果が得られている。 旧石器時代ナイフ形文化期の 三稜尖頭器、石錐、搔器、削器 等の石器が認められ、三稜尖 頭器については良好な接合関係 が把握された。 縄文時代早期では、集石ととも に、少量の早期前葉から後葉 にかけての土器と石器が出土 している。 縄文時代後期の石器集積から 出土したスクレーパーのなか には横刃形石器の可能性が ある資料が認められている。 古墳時代では、竪穴住居跡や 土坑、溝状遺構等の遺構に伴 い、成川式土器などが出土して いる。壺形土器のなかには、頸部 を打ち欠き、煮沸具として転用 した可能性のある資料が認め られており注目される。 古代から近世にかけてのもの と考えられる多数の溝状遺構 や道跡が切り合っており、発見 されており、当地が長期間にわた って串良川沿いに形成された河 岸段丘面上における往來の場所 として利用され続けてきたこと を示す結果であると考えられる。	山形 中村 (有)
								縄文早期	竪穴住居跡1軒、土 坑1基、集石遺構10 基	土器(志風頭式、石坂式、桑ノ丸 式、下剥牽式)、石匙、剥片、磨 石、敲石、石皿		
								縄文前期		土器(管畑式)		
								縄文後期 ～晩期	石器集積遺構1基	後期土器、組織痕土器、磨製石 斧、打製石斧、スクレイパー		
								弥生		土器		
								古墳	竪穴住居跡2軒、土 坑3基、溝状遺構1 条、道跡2条	土器(成川式)		
								古代～中世	土坑12基、溝状遺構 16条、道跡36条	土師器		
								近世	土坑1基、溝状遺構 7条、道跡28条	薩摩焼		
	その他	ビッド										
4	白水A	鹿屋市 白水町	国土交通省 九州地方 整備局 大隅河川 国道事務所		整理	—	H28	縄文晩期	土坑1基	土器(黒川式)	・縄文時代晩期から古墳時代 晩期にかけての遺跡である。縄 文時代晩期の土坑と古墳時代の 成川式土器などの遺物が出土 している。	樋之口 新屋敷
								古墳		土器(成川式)		
5	秋ヶ峯A	鹿屋市 白水町		一般国道 220号古 江バイパ ス建設	整理	—	H26 ～ H28	縄文早期	集石2基、溝状遺構	土器(下剥牽式、押型文)、打製 石斧、磨石、敲石	・縄文時代早期から古墳時代に かけての複合遺跡である。縄文 時代早期は集石2基、溝状遺 構を検出し、少量ではあるが下 剥牽式土器や押型文土器とも に石鏃、打製石斧、磨石、石 皿等が出土している。 古墳時代では竪穴住居跡や 土坑等の遺構に伴って成川式 土器、須恵器、砥石などが出土 している。	樋之口 新屋敷
								縄文後期		土器(市来式)		
								縄文晩期	土器集中1か所	土器(黒川式、組織痕)、打製石 斧、磨石、石鏃、敲石		
								古墳	竪穴住居跡2軒、土 坑1基、土器集中1 基、硬化面4条	土器(成川式)、須恵器、砥石		
6	山ノ上B	鹿屋市 小野原町			整理	—	H28 ～ H29	旧石器	礫群1基	黒曜石フレーク、水晶フレーク、 ハンマーストーン	旧石器時代から古墳時代に かけての複合遺跡である。遺構 は、古墳時代の土坑と竪穴住 居跡、縄文時代早期の集石が 29基検出された。 本遺跡内だけでなく、近隣遺 跡との関係を探むことで、古江 バイパス全体の様相を明らか にできる遺跡である。	浦
								縄文早期	集石29基、硬化面1 条	土器(加葉山式、石坂式、桑ノ丸、 下剥牽式、押型文、塞ノ神 式)、石匙、石斧、石鏃、石皿、凹 石、台石、黒曜石フレーク		
								縄文晩期		土器(黒川式)、粗製深鉢、石 鏃、黒曜石フレーク		
								古墳	竪穴住居跡3軒、土 坑3基	土器(成川式(笹貫))		
								その他		10mm機銃弾		
7	高野木	薩摩川内 市 大小路町	川内川 河川 事務所	薩摩川内 市街部 改修	整理 報告書	—	H27 ～ H28 H30	古代		土師器、須恵器、内黒土師器	高野木遺跡は、古代から近世 の遺跡である。 遺構は、中世の畝間状遺構と 近世の瓦質土器・陶磁器を伴う 土坑が検出された。また、古代 から近世の遺物も出土しており 、当時の生活様式や川内川 に隣接する立地を利用した生 業を知るうえで貴重な遺跡であ る。	浦
								中世	畝間状遺構80条	白磁碗、土師器、古銭、五輪塔		
								近世	土坑2基	瓦質土器、陶器、陶磁器、土師 質土器		
								その他		土器(縄文・弥生)、土製品、砥 石、和釘、軽石製品、剥片・石核		

1 資料調査・貸出等

資料調査受け入れ数

博物館等	行政	大学	出版社	新聞社	企業	研究会	合計(件)
6	13	11	0	0	1	2	33

調査遺跡数	調査遺物数
59	894

写真・図版貸出数

博物館等	行政	大学	出版社	新聞社	企業	研究会	合計(件)
2	10	1	12	5	3	1	34

写真・図版・遺物・剥ぎ取り資料貸出数

遺跡数	点数
84	788

遺物・剥ぎ取り資料貸出数

博物館等	行政	大学	出版社	新聞社	企業	研究会	合計(件)
22	8	1	0	0	1	0	32

主な貸出先

東京国立博物館(縄文展・バリ展)、文化庁(列島展・重文指定)ほか各博物館等

2 ホームページ(<http://www.jomon-no-mori.jp>)アクセス数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アクセス数	3,005	5,045	2,619	2,769	3,442	2,601	3,396	2,486	2,024	2,644	2,163	2,489	34,683

3 データベース登録数(ホームページにて検索可能)

No	登録遺跡名	登録遺物		登録遺構		
		登録実測図	登録写真	登録実測図	登録写真	
1	鞍曲	223	203	52	83	
2	牧野	707	708	102	205	
3	敷根火薬製造所跡	34	32	9	9	
4	根占原台場跡	2	2	5	49	
5	久慈白糖工場跡	51	43	3	48	
6	山ノ口	118	108	3	101	
7	河内山鉱山跡	40	37	23	8	
8	虎居城跡	197	126	34	4	
9	永吉天神段 3	1,237	1,062	103	5	
10	天神段 3	3,703	1,395	486	3	
11	天神段 4	2,047	351	13	23	
12	町田堀 2	1,072	336	82	29	
平成30年度合計		遺跡数 : 12	9,431	4,403	915	567
累計		遺跡数 : 449	577,942			

4 分析・保存処理点数(平成30年度中に処理が完了した遺物数)

No	処理名	処理点数	遺跡名
1	金属器処理	297	川久保遺跡, 知覧城跡, 飯隈遺跡, 六反ヶ丸遺跡, 根占原台場跡他
2	木器処理	100	虎居城跡, 椿城跡, 京田遺跡, 南下遺跡
3	分析(赤色顔料等)	461	安良遺跡, 川久保遺跡, 春日堀遺跡, 上加世田遺跡, 六反ヶ丸遺跡, 小牧遺跡他

5 研修・講座等

埋蔵文化財専門職員養成講座

No	講座名	実施日	参加者数
1	初級講座(考古学講座と体験学習)	8月9日～8月10日	4市1町6人
2	中級講座(長研究生フォローアップ研修講座)	8月23日～8月24日	6市1町7人
3	上級講座(技術研修講座)	1月17日～1月18日	15市町村のべ17人

教員の研修講座

No	講座名	実施日	参加者数
1	フレッシュ研修(初任者研修「体験・体感 縄文の森」)	8月9日～8月10日	23人
2	パワーアップ研修(10年経験者研修) 「体験・体感 縄文の森」	7月26日～7月27日 8月2日～8月3日	小・特・養・栄:10人 中・高:8人

6 普及・啓発関係

鹿児島県立埋蔵文化財センター遺跡フォーラム2018

開催日	会場	参加者数	内容
10月13日	志布志市文化会館	268人	かごしま遺跡フォーラム2018 「大隅半島の考古学 ～道路の下のものごとがたり～」

遺跡公開(現地説明会)

遺跡名	場所	期日	内容	見学者数
原村遺跡	曾於市	12月1日	遺跡概要説明, 遺跡見学(遺構の説明・見学)	220
合 計				220

(公財)埋蔵文化財調査センター実施分

遺跡名	場所	期日	内容	見学者数
春日堀遺跡	志布志市	8月25日	遺跡概要説明, 遺跡見学(遺構・出土品の説明・見学)	220
六反ヶ丸遺跡	出水市	11月10日	遺跡概要説明, 遺跡見学(遺構・出土品の説明・見学)	231
合 計				671

発掘体験等

遺跡名	場所	期日	内容	学校名等	員数
原村遺跡	曾於市	7月11日	発掘体験	曾於市立檉小学校	8
鹿児島城跡	鹿児島市	7月18日	遺跡見学 壁土作り体験	鹿児島市立名山小学校6年生	60
原村遺跡	曾於市	8月2日	遺跡見学	曾於市文化財保護審議会委員	9
宇都上遺跡	志布志市	8月7日	遺跡見学・発掘体験	志布志市パワーアップ研修	2
川上遺跡	鹿屋市	8月7日	遺跡見学	東串良町小中学校発掘体験	14
原村遺跡	曾於市	8月9日	遺跡見学・発掘体験	鹿屋市立寿小学校	7
川上遺跡・鶯原遺跡	鹿屋市	8月22日	遺跡見学	鹿屋市文化財少年団	24
合 計					124

職場体験学習・インターンシップ等

期日	体験者等	内容	参加者数
平成30年5月23日～24日	霧島市立舞鶴中学校	職場体験学習	2
合 計			2

まいぶんキット貸出事業

貸出内容	貸出対象数
本物の遺物(土器や石器など)をセットにしたものを学校等に貸出し, 授業で本物に触れる機会を提供	対象校13校中, 26クラス, 1077人

	貸出期間	学校等名	市町村名	対象			内容
				学年	学級数	児童・生徒数	
1	4月10日～4月30日	重富小	始良市	6	3	98	縄文土器・石器
2	4月11日～4月13日	清和小	鹿児島市	6	4	160	縄文土器・石器・角筒土器レプリカ
3	4月11日～4月13日	下水流小	出水市	6	1	35	縄文土器・石器・角筒土器レプリカ
4	4月11日～4月13日	米ノ津東小	出水市	6	2	70	縄文土器・石器・角筒土器レプリカ
5	5月7日～5月31日	鹿屋東中学校	鹿屋市	1	8	292	縄文土器・弥生土器
6	6月2日～7月20日	宇都中	志布志市	3		8	縄文土器・石器
7	7月10日	細山田中	鹿屋市	1	1	40	弥生土器・勾玉・管玉・鍬飾品
8	7月11日	国分南中	霧島市			49	縄文土器・石器・角筒土器レプリカ
9	7月30日	瀬戸内町社会 科研究会	瀬戸内町	教職員		16	久慈白糖工場跡の耐火レンガ レンガ(赤)
10	8月1日	古仁屋中	瀬戸内町	教職員	1	25	久慈白糖工場跡の耐火レンガ レンガ(赤)
11	8月27日～8月31日	種子島高	西之表市	2 3	2 2	42 30	旧石器・縄文の石器・土器 弥生土器 成川式土器 木簡レプリカ
12	9月20日～9月29日	鹿児島純心女 子大学	薩摩川内市			30	縄文土器
13	10月29日～11月7日	富隈小	霧島市	6 3	3 3	85 97	第二次大戦関連遺物
合計							1077人

おでかけ体験隊支援

番号	期日	学校等名	所在地	対象学年等	人数	時間

7 刊行物等

発掘調査報告書

No	シリーズ	発掘調査報告書名	所在地	執筆担当	発行月
1	セ198	下原遺跡	志布志市志布志町	池田裕一郎・山崎克之	平成31年3月
2	セ199	本御内遺跡	霧島市国分	藤島伸一郎・福蘭慶明	平成31年3月
3	セ200	吐噶喇・奄美の遺跡	十島村宝島・奄美市・大島郡瀬戸内町・伊仙町・知名町	倉元良文・松山初音・宗岡克英	平成31年3月
4	財21	高野木遺跡	薩摩川内市	浦博司・福地祥平	平成31年3月
5	財22	永吉天神段遺跡4 第3地点	曾於郡大崎町	今村敏照・横手浩二郎・相良典隆	平成31年3月
6	財23	見帰遺跡	志布志市志布志町	西園勝彦・大坪啓子	平成31年3月
6	財24	川久保遺跡 C地点	鹿屋市串良町	山形敏行・中村有希	平成31年3月

埋文だより(各2.400部発行)

No	シリーズ	内容	発行日
1	76号	中世の武家屋敷(本御内遺跡), 発見! 発掘速報, 上野原遺跡今昔, 啓発・普及活動, 平成30年度発掘調査予定遺跡	平成30年6月29日
2	77号	中世の人々の想い(宇都上遺跡), 発見! 発掘速報, 上野原遺跡今昔, 現地説明会(木佐木原遺跡), 百聞は一見にしかず(埋蔵文化財研修)	平成30年10月31日
3	78号	日本最大級の火薬製造所跡(滝ノ上火薬製造所跡), 発見! 発掘速報, かごしま遺跡フォーラム2018, 遺跡公開現地説明会開催	平成31年2月28日

かごしま遺跡フォーラム2018

内容			開催日
①近年の発掘調査からわかってきた大隅半島の歴史	県立埋蔵文化財センター所長	堂込 秀人	平成30年10月13日
②天神段遺跡(曾於郡大崎町)	(公財)鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター	立神 倫史	
③川久保遺跡(鹿屋市串良町)	県立埋蔵文化財センター	湯場崎 辰巳	
④小牧遺跡(鹿屋市串良町)	(公財)鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター	横手 浩二郎	
⑤次五遺跡(志布志市有明町)	志布志市教育委員会生涯学習課	相美 伊久雄	

8 鹿児島県立埋蔵文化財センター来所者数(平成30年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
個 人	小学生	22	0	0	23	164	2	6	0	10	12	1	11	251	
	中学生	0	0	2	13	0	0	0	0	0	0	0	1	16	
	高校生	62	3	8	1	0	0	0	0	0	0	0	0	74	
	一般	210	174	175	213	303	167	222	170	153	183	206	441	2,617	
	その他	0	0	0	10	29	0	0	0	0	0	0	0	39	
	計	294	177	185	260	496	169	228	170	163	195	207	453	2,997	
団 体	小学生	人員	0	381	53	0	0	0	40	0	0	0	0	474	
		団体	0	6	1	0	0	0	2	0	0	0	0	9	
	中学生	人員	0	10	0	0	0	0	0	188	0	0	0	5	203
		団体	0	4	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	7
	高校生	人員	0	0	0	0	0	0	0	41	0	0	0	0	41
		団体	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	一般	人員	0	29	4	26	32	0	28	120	0	0	5	70	314
		団体	0	1	0	2	3	0	1	2	0	0	1	7	17
	計	人員	0	420	57	26	32	0	68	349	0	0	5	75	1,032
		団体	0	11	1	2	3	0	3	5	0	0	1	8	34
計	小学生	22	381	53	23	164	2	46	0	10	12	1	11	725	
	中学生	0	10	2	13	0	0	0	188	0	0	0	6	219	
	高校生	62	3	8	1	0	0	0	41	0	0	0	0	115	
	一般	210	203	179	239	335	167	250	290	153	183	211	511	2,931	
	その他	0	0	0	10	29	0	0	0	0	0	0	0	39	
	計	294	597	242	286	528	169	296	519	163	195	212	528	4,029	

9 (公財)鹿児島県上野原縄文の森との連携

企画展・特別展関係

No	開催期間	企画展テーマ	講演会期日	職名・講師	講演会参加者数	総来園者数
				講演会テーマ		
第51回	4月24日 ～8月26日	「バックナンバー 古の美術品」	5月12日 8月4日	大久保浩二	41 44	8,852
				「古の美術品 ～三行外のメッセージ～」		
第52回	9月8日 ～11月25日	「道路の下の物語 ～新発見! かごしまの遺跡2018～」	9月15日	宗岡克英	28	5,280
				「知覧道路の物語」		
				今村敏照		
				「東九州道の物語」		
第53回	12月7日 ～3月21日	「弥生もスゴイ! かごしま」	1月12日	国立歴史民俗博物館 教授 藤尾慎一郎氏	71	2,426
				「弥生時代のかごしま」		

考古学講座

No	期日	タイトル	講師	参加者数
第1回	5月19日	霧島の西南戦争 ～牧園に残る堡壘群(ほうるいぐん)～	手嶋正次 氏 (鹿児島県文化財保護指導員)	45
第2回	6月30日	鹿児島島の古人骨	竹中正巳氏 (鹿児島女子短期大学教授)	38
第3回	9月22日	はじめての考古学～縄文土器の文様の謎に迫る～	立神倫史氏 (公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター)	43
第4回	11月23日	西郷どんの愛した温泉まち歩き(霧島市隼人町日当山周辺)	東川隆太郎氏 (NPO法人かごしま探検の会 代表理事)	33
第5回	2月23日	大隅正八幡宮(おおすみしょうはちまんぐう)の歴史	坂元祐巳氏 (霧島市教育委員会文化財グループ主任主事)	44

「河ロコレクション」の展示(常設展示コーナー)

	期日	展示内容
第1回	5月19日～9月21日	骨が語るむかしの暮らし(市来貝塚)
第2回	9月22日～1月18日	河口貞徳氏の軌跡(一之宮遺跡・草野貝塚・大原遺跡・春日町遺跡)
第3回	1月19日～5月17日	標式遺跡シリーズⅡ(上加世田遺跡・入佐遺跡・黒川洞穴)

鹿児島県立埋蔵文化財センター

研究紀要・年報 **縄文の森から** 第12号

※なお、本研究紀要は査読誌です

発行年月 2020年3月

編集・発行 鹿児島県立埋蔵文化財センター

〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森2番1号

TEL 0995-48-5811

E-mail maibun@jomon-no-mori.jp

URL <https://www.jomon-no-mori.jp>

印刷 有限会社 国分新生社印刷

〒899-4301 鹿児島県霧島市国分重久627-1
